

2019年09月11日

## 【格付維持】

## 北洋銀行

発行体格付： A－ [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&amp;I)は上記の格付を公表しました。

## 【格付理由】

北海道でトップの地位にある地域銀行。地元密着の方針の下、貸出金シェアの向上を図っている。ターゲットを絞った営業推進態勢が浸透しつつあり、中小・小規模企業向けの貸し出しに貢献している。道内で吸収できない余資は低利の地方公共団体や大企業向け融資に振り向けている。貸出金利回りはストックとフローに差が残っており、しばらく低下が続く見通し。国債の償還で有価証券利息配当金も減少傾向にある。資金利益の底入れには時間を要する。

経費削減に一定の成果を上げており、利益の減少を緩和している。今後も店舗・ATMの見直しや業務効率化による人員の捻出といった施策を加速していく方針だ。収益力の大幅な悪化は回避できるとR&Iはみている。これまで自前で運営してきた基幹系システムを2022年度からTSUBASAアライアンス参加行と共同化する。一時的に償却費用が膨らむものの、中長期的には物件費の圧縮を通じて収益力の改善に寄与しよう。

預かり資産ビジネスにおける2018年度の販売額実績や2019年度の目標は、2017年度に策定した中期経営計画から大きく下方乖離している。法人向け役務取引はフロービジネス主体で収益の変動が大きい。預かり資産は販売体制を見直し、KPI（重要業績評価指標）である残高の積み上げに注力する。法人向け役務取引では、事業性評価を通じ企業へのソリューション提供を増やす。預貸ビジネスの大幅な拡大が見込めないだけに、非金利収益による粗利益の増強が重要だ。底上げを図れるか注目している。

リスク耐久力はおおむねAゾーンに見合う。固定金利貸出の伸長やREITなど価格変動リスクの大きい資産の積み増しを主因にやや悪化している。統合リスク管理上の資本配賦率や自己資本比率で維持すべきとしている目線を踏まえると、リスクが大幅に増える可能性は低いとR&Iはみている。道内与信は小口分散しており、信用リスクはそれほど大きくない。資産の質は比較的健全だ。預貸率は70%台と100%を下回り、十分な流動性を備える。

## 【格付対象】

発行者：北洋銀行(証券コード：8524)

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	A－(維持)	安定的

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp  
 ■報道関係のお問合せ先：経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html>をご覧ください。

## 信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	石野田 雄太
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2019年09月06日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2018.05.31] 金融機関等に共通する格付の考え方 [2017.03.07] 預金取扱金融機関 [2019.02.21]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html</a>	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html</a>	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html</a>	
格付関係者	北洋銀行
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。
情報提供者	格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界 R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。 R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。 利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部  
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室（広報担当）

TEL. 03-6273-7471  
TEL. 03-6273-7273

E-mail infodept@r-i.co.jp

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。  
©Rating and Investment Information, Inc.